

指定要件等	必須:A, 非必須:B	19 大垣市民病院	
所在地		大垣市南類町4丁目86番地	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度:	岐阜県(西濃医療圏) 392,647人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		19.8%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)</b>			
<b>1 診療体制</b>			
<b>(1)診療機能</b>			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P218~P235
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和ケアチーム有(医師5名、看護師2名、事務1名)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	がん治療に関して、ほぼ終末病院として機能しており、他医療機関への紹介としては、愛知県がんセンターや大学病院への紹介、高度最先端医療、新規抗がん剤などの新薬試験への参加などが多い。また、当院へのセカンド・オピニオンのニーズに対し積極的に対応している。各病院との共同研究には、積極的に参加している。
<b>(2)診療従事者</b>			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	医師数:16名
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	1名
○精神保健福祉士	B	×	0名(精神科常勤医師2名)
○臨床心理に携わる者	B	×	0名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	3名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	1名(他非常勤1名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	2名
<b>(3)医療施設</b>			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	○	15床
③無菌病室の設置	B	○	5床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	有(施術件数 430件)
<b>(4)医療機器</b>			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック1台、CTスキャン4台、MRI3台、連続血管撮影装置3台、SPECT3台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	リニアック2人、CTスキャン5人、MRI4人、連続血管撮影装置4人、SPECT3人
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○	H16.4から可動
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	病診連携カンファレンス 年4回開催、研究会年間約20回程度開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	年間10名程度。各分野の厚生労働省班会議等に出席。
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	各専門領域の医師による頻度の高いがん種に対する一般向けに解説等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○	医師会主催・共催の学術会議等で、年間20回以上
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している。 全病院的な電子カルテと統合された院内がん登録システムは、平成18年度稼働予定で、既に診療科によっては、5年生存率の実績データを有しているため、平成17年度中には可能。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	20 医療法人厚生会 木沢記念病院	
所在地		美濃加茂市古井町古井590番地	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		充足度	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)			岐阜県(中濃医療圏) 391,267人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		17.9%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
<b>(1) 診療機能</b>			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	<input type="radio"/>	「参考資料1」 P236～P239
②緩和医療の提供体制	A	<input type="radio"/>	緩和ケア病棟無 緩和ケアチーム有(医師2名、看護師8名、薬剤師、栄養士、理学療法士各1名常勤)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	<input type="radio"/>	診療についての紹介と勿論、外来診療や手術時の医師の派遣、また研修会・セミナーでは双方での参加を行っている。臨床研修病院、治験などについても連携を図っている。
<b>(2) 診療従事者</b>			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	<input type="radio"/>	医師数:13名
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	<input checked="" type="radio"/>	0名
○精神保健福祉士	B	<input checked="" type="radio"/>	0名
○臨床心理に携わる者	B	<input type="radio"/>	1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	<input type="radio"/>	4名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	<input type="radio"/>	2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	3名(他非常勤1名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	1名
<b>(3) 医療施設</b>			
①医療相談室の設置	A	<input type="radio"/>	有(2室)
②集中治療室の設置	B	<input type="radio"/>	有(10室)
③無菌病室の設置	B	<input checked="" type="radio"/>	無
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	<input type="radio"/>	有
<b>(4) 医療機器</b>			
○高度な医療機器の設置	B	<input type="radio"/>	リニャック1台、CTスキャン2台、MRI2台、ハーモニック超音波装置1台、アンギオ(血液内治療)1台、PET2台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	<input type="radio"/>	リニャック2名、CTスキャン5名、MRI2名、ハーモニック超音波装置1名、アンギオ(血液内治療)3名、PET5名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	<input type="radio"/>	確立している。(H16.4)
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	臨床研修病院として医師の研修の受入、医学セミナー一年1回開催、地域の医療機関の医師と最新の医療方法を検討するための症例検討会等の開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	各種専門学会、研修会でがん診療に関係するものへの参加状況 医師26名・看護師、薬剤師、技師、診療情報管理士 41名
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	<input type="radio"/>	病院概要、診療科案内等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	<input type="radio"/>	セカンドオピニオン、紹介患者のPET検査等を含め、診療情報提供を行った。H14年度 3,000件、H15年度 2,731件
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	<input type="radio"/>	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している

指定要件等	必須:A, 非必須:B	21 岐阜県立多治見病院	
所在地		多治見市前畑町5丁目161番地	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度:	岐阜県(東濃医療圏) 359,715人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		16.9%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P240~P244
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和ケアチーム(医師3名、看護師、ソーシャルワーカー各2名、薬剤師、栄養士、診療録管理士 各1名)
③地域医療機関・大病院等との連携・協力体制	A	○	医療連携室を設置し、地域の医療機関と常に連携を取っている。また、地域医療機関とCT、MRI、RI等高度医療機器の共同利用を行っている。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	医師数:16名
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	×	0名
○精神保健福祉士	B	×	0名
○臨床心理に携わる者	B	○	1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	1名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	○	20床
③無菌病室の設置	B	○	3床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	有(施術件数 430件)
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック1台、CTスキャン2台、MRI2台、連続血管撮影装置1台、シンチカメラ1台、乳房撮影装置1台、X線テレビ装置4台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	リニアック3名、CTスキャン4名、MRI2名、連続血管撮影装置2名、シンチカメラ1名、乳房撮影装置1名、X線テレビ装置6名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	H16.7から
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	医療連携懇談会 年2回、消化器病懇談会 年1回、医師会への講師派遣 約20~30人、呼吸器カンファレンス、画像研究会、各種研修会に参加
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	歯科口腔外科、皮膚科、耳鼻科、泌尿器科カンファレンス 毎日開催、婦人科、血液内科、外科、消化器外科、呼吸器放射線合同カンファレンス週1回、消化器カンファレンス週2回、内科外科合同2週に1回
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	(有)がんに関する年間治療実績及び胃がん、大腸がんの5年生存率を提供
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○	かかりつけ医との連携及び相談に応じている H13年度 紹介率 26.7%、紹介医療機関 841施設、紹介患者数 7,061名 H14年度 紹介率 30.3%、紹介医療機関 908施設、紹介患者数 9,696名
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	胃がん、大腸がんについては、5年生存率等の解析を行っている。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	22 総合病院高山赤十字病院	
所在地		高山市天満町3丁目11番地	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度:	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		岐阜県(飛騨医療圏)	168,157人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		9.8%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P245～P267
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和ケアチーム(医師2名、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、臨床心理士、 メディカルソーシャルワーカー 各1名)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	先端医療を遂行できる病院を県内を問わず紹介し、他病院等と共同研究を実施している。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	医師数:12名
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	1名
○精神保健福祉士	B	○	1名
○臨床心理に携わる者	B	×	0名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	2名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	3名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	0名(協力体制有り)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	1名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	○	4床
③無菌病室の設置	B	○	1床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	有(施術件数 88件)
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック1台、CTスキャン2台、MRI1台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	常勤の診療放射線技師にて対応
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	H7～確立
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	地域医療所医師(自治医大卒業医師)からの紹介患者の共同診察、手術立会、カンファレンスへの参加及び定期的な病院内研修の実施
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	がん診療及び循環器診療に従事する医師等の研修(H9年から) 医師9名、診療放射線技師3名、看護師1名。東海ストーマリハビリテーション講習会、日本創傷オストミー失禁ケア研究会、院内講演会開催、オンコロジーナース
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	ホームページ内診療科案内、外科において、一般治療成績としてのがん診療情報を掲載
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○	医療機関からの相談件数は不明。検査結果等の情報提供 H13 120件、H14 198件
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	細部類部位別退院患者数、部位別・男女別分布、年齢別分布・年齢推計を毎年情報収集し、診療科単位でよりきめ細かい情報の収集等を実施。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	23 (社) 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	
所在地		静岡県浜松市三方原町3453	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>	充足度	備考	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)	○	静岡県(西遠保健医療圏)※同一医療圏で推薦中 820,269人(平成15年10月1日現在)	
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	26.9%(平成15年12月1日現在)	
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
(1) 診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P268~P276
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟あり(27床)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	地域医療連携室による各医療機関との協力体制を整備、紹介率は、部位別に68.8%~88.4%、包括的がん治療プロジェクトを設置し、地域医療機関との連携強化を図っている。
(2) 診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	包括的がん治療プロジェクト医師17名が中心となり対応。また、学会認定資格を有する専門医も随時対応している
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	30名(ホスピスケア認定看護師1名)
○精神保健福祉士	B	○	4名
○臨床心理に携わる者	B	○	3名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	6名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	3名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	1名
(3) 医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	4室
②集中治療室の設置	B	○	8床
③無菌病室の設置	B	○	2床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	リニアック室
(4) 医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック、MRI、CT、RI、画像観察システム、生化学分析装置、電子内視鏡システム、超音波凝固切開装置 等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線技師31名、臨床工学技師16名、臨床検査技師43名 等を配置
(5) 院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○	平成16年度内に運用開始
<b>2 研修体制</b>			
(1) 地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	・各種講演会、勉強会の開催
(2) 院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	平成15年度実績 83回
<b>3 情報提供体制</b>			
(1) ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	・病院概要、各診療科の紹介(専門スタッフ、認定学会、診療実績等)、病院年報等の各種統計データ 等
(2) 地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○	地域医療機関との勉強会、研修会の開催、開放型病院として地域医療連携室を中心とした共同診療の実施、受け入れから退院までのタイムリーな情報発信 等
(3) 総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	関連学会における発表等のほか、病院年報にて各科ごとに5年生存率等の治療実績を掲載している。今後、がんの治療成績等の情報をホームページにより積極的に提供していく

指定要件等	必須:A, 非必須:B	24 (社)聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
所在地		浜松市住吉2-12-12
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		静岡県(西遠圏域)※同一医療圏で推薦中 825,123人(平成16年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	33.0%(平成16年6月30日現在)
<b>II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)</b>		
<b>1. 診療体制</b>		
<b>(1) 診療機能</b>		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P277~P283
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟…無(中長期の計画の中で検討) ○ 緩和ケアチーム…有
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 地域医療連携室において連携・協力体制がある
<b>(2) 診療従事者</b>		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 画像診断(常勤6名、非常勤4名) 化学療法(常勤53名) ○ 緩和医療(常勤6名)
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	○ 常勤1名
○精神保健福祉士	B	○ 常勤1名
○臨床心理に携わる者	B	○ 常勤2名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤7名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤5名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 腫瘍治療科(常勤1名) 放射線科(常勤6名、非常勤4名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤3名、非常勤1名
<b>(3) 医療施設</b>		
①医療相談室の設置	A	○ 4室
②集中治療室の設置	B	○ 14床
③無菌病室の設置	B	○ 5床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ リニアック1台有(リニアック1台増設予定)
<b>(4) 医療機器</b>		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック、マンモグラフィ、MRI、RIなど
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 臨床工学士 常勤18名 ○ 診療放射線技師 常勤34名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成15年10月より開始 ○ 登録者数288名(平成16年6月30日現在)
<b>2. 研修体制</b>		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 緩和ケア研究会、各症例検討会等積極的に実施している
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 講演会、シンポジウム、症例検討会等積極的に取り組んでいる
<b>3. 情報提供体制</b>		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ ホームページに疾患別患者数、術式別の手術件数、施設基準の取得状況、クリニカルパスの実施状況等を掲載
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 開放病室を利用した紹介患者の共同診療 ○ 広報誌によりがん情報を、医学雑誌により症例報告を情報提供 ○ 合同カンファレンスを開催し情報提供している。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 関連学会における症例や実績発表 ○ インターネットにがん患者数、手術件数を掲載